

運営推進会議録

記録者(職種) 秋元智之 心春管理者

開催日 平成 28年 9月 15日 開催場所 ゆーとりあ内会議室 開催時間 13:30~14:30 開催回数 1回

	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名
会議出席者	保険者	秋本 有子	地域代表	小笠原 憲昭	利用者家族代表	柳館 由紀江
	管理者	秋元 智之	デイスタッフ	松浦 明子		
検討内容など	1.活動状況報告					
	①デイサービス心春について説明					
	事業計画に沿って概要を説明する。今年度、認知症実践者研修に参加した職員がおり、実習時に職員全員で施設理念の見直しを行った。新しい理念は「第2のおうち こはるの理念 一人一人の思いを大切に、その人が自分らしく笑顔で生き生きとした時間を過ごせるように支援します」となっている。					
	②4月からの活動・運営状況報告					
	一日の定員は12名で平均利用者数は6~7人で推移している。8月は施設入所が決まった方やショートステイ利用回数が増えた方がいることで利用回数は減っている。9月から新規の利用者の紹介があった。					
	事故報告・ヒヤリハット報告については事故が3件、ヒヤリハットが3件であった。事故報告の内容に車両事故が2件あった。物損のみで利用者職員ともにケガはなかった。					
	心春利用時の様子について、心春便りを見て説明を行った。行事や一日に日課はあまり決めておらず、畑作り、家事、料理など普段の生活をしてもらうことが多い。いわゆる「生活リハビリ」を行うことで心身機能の維持向上、満足感を感じてもらえるように意識している。					
	2.評価及び助言・要望					
	小笠原さんより 車両事故についてはどんな内容のものだったのか？					
	事業所前の灯油タンクに低速で衝突してしまった。注意不足、集中力不足によるところが大きいので定期的に事故防止を呼び掛けて					

<p>検討内容など</p>	<p>いきたい。また、車の切り返しに十分なスペースを確保できるように職員車の駐車をマリア園に統一している。</p> <hr/> <p>小笠原さんより 利用人数が少ないが、今後の見通しは？</p> <p>多く利用していただいている方の入所が決まるとどうしても利用率が下がってしまう。またショートステイ等の利用回数にも左右される。</p> <p>積極的に周知して利用者は受け入れていくが、認知症という特性上、利用開始までが難しい場合もある。</p> <p>秋本さんより 町でも認知症対策に取り組んでいる。介護者教室等で心春の紹介も行っている。今後も必要な人に必要なサービスを提供できるようにしていきたい。</p> <hr/> <p>柳館さんより 状態が変わっても継続して利用させてもらっているのを助かっている。本人も違う環境になると戸惑ってしまうと思う。</p> <p>スタッフも一緒になって対応を考えてくれるので助かる</p> <hr/> <p>小笠原さんより 自治会で11月にだまっこ会を行う予定。もし良ければ、利用者と一緒に参加して欲しい。一般民家ということもあり、災害時の避難はスタッフだけでは難しいと思う。近隣の方々に声をかけて避難訓練を行ってはどうだろうか。また、災害時に近隣住民が駆けつけられるようにサイレン等の設置も検討してはどうか。地域住民に心春を身近に感じてもらうために、昼食を有料でふるまう機会を設けたらどうか。</p> <p>地域交流のため前向きに検討したい</p>
<p>結論</p>	<p>地域交流について具体的な案をいただいた。利用者の状況も考えながら、積極的に地域交流していきたい。また、町の協力も得ながら、地域住民に認知症や心春について理解してもらえるように努めていく。</p>
<p>残された課題</p>	<p>次回は事前に議題をお知らせして、より有意義な話し合いの場とする。</p> <p>(次回開催時期)平成29年3月予定</p>